

神戸町立下宮小学校で防災講座を行いました

11月20日（水）、神戸町立下宮小学校で保護者が見守る中、5年生12名、6年生22名に防災講座を行いました。

5年生は、神戸町でも家屋の浸水被害があった伊勢湾台風や9.12豪雨災害、平成14年7月台風6号など過去に発生した水害を学習しました。また、ハザードマップは全員が知っていましたが、浸水深まで確認した児童は数名で、揖斐川の想定浸水深3～5mを校舎に重ねたスライドの説明の際には、その浸水の深さに驚いていました。

昨年度防災講座を受講した6年生は、A1語り部で伊勢湾台風を学習しました。今回は伊勢湾太郎さんが3択クイズを出題し、児童が挑戦しました。簡単な質問で全員が正解しました。その後、「岐阜県ではどれくらい雨が降りましたか?」、「どうやって避難所へ行きましたか?」、「おじいちゃんの家族はどうなりましたか?」など各自で質問をし、わかったことを用紙に記入しました。最後に使った感想を尋ねたところ、「楽しかった」、「面白かった」などの意見がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、神戸町広報に取材頂きました。



5年生



6年生